

グローバル・カレンダーと注目ポイント (7月22日号)

グローバル・カレンダー〈政治・経済イベントと経済指標〉

注目ポイント!

- ▶ 中国では8月上旬に、中国共産党の指導部（政治局常務委員）や長老らが集まり重要課題を議論する「北戴河会議」が開催されます。今年は秋の共産党大会で習近平国家主席が3期目入りとなるか退任するかを決める年であり、指導部人事の調整が焦点になりそうです。
- ▶ 国内では、内外の投資家による不動産投資が活発化しています。海外勢にとって円安と超低金利で投資妙味が高く、例えば東京の主要ビルは借入コストを考慮した不動産投資利回りが世界的にも高くなっています。国内勢からも運用難のなか株式・債券に代わるオルタナティブ（代替）投資として関心が寄せられています。

月	火	水	木	金
7/25	26	27	28	29
独 7月ifo企業景況感指数 米 6月シカゴ連銀全米活動指数	日 6月企業向けサービス価格指数 米 5月FHFA住宅価格指数 米 6月新築住宅販売件数 米 7月CB消費者信頼感指数	中 6月工業企業利益 ユーロ圏 6月マネーサプライM3 米 6月耐久財受注 米 FOMC結果発表	独 7月CPI 米 4-6月期GDP速報値	日 7月東京CPI 日 6月鉱工業生産、小売売上高、住宅着工件数 ユーロ圏 7月CPI ユーロ圏 4-6月期GDP速報値 米 6月PCEデフレーター
8/1	2	3	4	5
日 7月自動車販売台数 中 7月財新製造業PMI 米 7月ISM製造業景況指数	豪 政策金利	中 7月財新サービス業PMI ユーロ圏 6月小売売上高 独 6月貿易収支 米 7月ISM非製造業景況指数	英 政策金利 米 6月貿易収支	日 6月毎月勤労統計 日 6月景気動向指数 独 6月鉱工業生産 米 7月雇用統計
8	9	10	11	12
日 7月景気ウォッチャー調査	日 7月マネーストックM2 OECD景気先行指数	日 7月国内企業物価指数 日 7月東京オフィス空室率 米 7月CPI	日 山の日	ユーロ圏 6月鉱工業生産 英 6月鉱工業生産 米 8月ミシガン大学消費者マインド
15	16	17	18	19
日 4-6月期GDP1次速報値 中 7月鉱工業生産 米 8月NY連銀製造業景況指数	日 6月第3次産業活動指数 独 8月ZEW景況感指数 米 7月住宅着工件数 米 7月鉱工業生産	日 6月機械受注 日 7月貿易収支 ユーロ圏 4-6月期GDP改定値 米 7月小売売上高 米 FOMC議事録	米 7月中古住宅販売件数	日 7月全国CPI

こんな予定も!

7月31日	中国 7月製造業PMI
8月3日	OPECプラス会合
8月7日	中国 7月外貨準備高
8月9-15日頃	中国 7月マネーサプライM2
8月25-27日	国際経済シンポジウム（ジャクソンホール会議）
8月31日	G20環境・気候変動担当相会合（インドネシア・バリ）
8月上旬	中国 北戴河会議

(注) 日程は資料作成時点のものであり将来変更されることがあります。

(出所) 各種資料より岡三アセットマネジメント作成

(作成：マーケティング部)

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は、投資環境に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、特定のファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡しますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

皆様の投資判断に関する留意事項

【投資信託のリスク】

投資信託は、株式や公社債など値動きのある証券等（外貨建資産に投資する場合は為替リスクがあります。）に投資しますので、基準価額は変動します。従って、投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた損益は、すべて投資者の皆様へ帰属します。

【留意事項】

- 投資信託のお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要性が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金申込みの受付が中止となる可能性、換金代金の支払いが遅延する可能性があります。
- 投資信託の収益分配は、各ファンドの分配方針に基づいて行われますが、必ず分配を行うものではなく、また、分配金の金額も確定したものではありません。分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部戻りに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。

【お客様にご負担いただく費用】

- お客様が購入時に直接的に負担する費用
購入時手数料：購入金額（購入価額×購入口数）×上限3.85%（税抜3.5%）
 - お客様が換金時に直接的に負担する費用
信託財産留保額：換金時に適用される基準価額×0.3%以内
 - お客様が信託財産で間接的に負担する費用
運用管理費用（信託報酬）の実質的な負担：純資産総額×実質上限年率2.09%（税抜1.90%）
 ※実質的な負担とは、ファンドの投資対象が投資信託証券の場合、その投資信託証券の信託報酬を含めた報酬のことをいいます。なお、実質的な運用管理費用（信託報酬）は目安であり、投資信託証券の実際の組入比率により変動します。
- その他費用・手数料**
- **監査費用**：純資産総額×上限年率0.0132%（税抜0.012%）
 ※上記監査費用の他に、有価証券等の売買に係る売買委託手数料、投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、海外における資産の保管等に要する費用、受託会社の立替えた立替金の利息、借入金の利息等を投資信託財産から間接的にご負担いただく場合があります。
 （監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。）
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額若しくはその上限額又はこれらの計算方法を示すことはできません。

【岡三アセットマネジメント】

商号：岡三アセットマネジメント株式会社
 事業内容：投資運用業、投資助言・代理業及び第二種金融商品取引業
 登録：金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第370号
 加入協会：一般社団法人投資信託協会／一般社団法人日本投資顧問業協会

上記のリスクや費用につきましては、一般的な投資信託を想定しております。各費用項目の料率は、委託会社である岡三アセットマネジメント株式会社が運用する公募投資信託のうち、最高の料率を記載しております。投資信託のリスクや費用は、個別の投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前に、個別の投資信託の「投資信託説明書（交付目論見書）」の【投資リスク、手続・手数料等】をご確認ください。

＜本資料に関するお問合わせ先＞

フリーダイヤル **0120-048-214**（9:00～17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く）